

海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：文学部人文学科行動科学コース社会学専修

学年：4

留学先大学：ソウル市立大学

現在の学期：1

時間割：

曜日	履修科目名・時間等
月	
火	Intermediate Korean Language 2 (12 : 00～15 : 00)
水	Korean Pronunciation and its Application (15 : 00～17 : 50)
木	Global Startup (10 : 00～12 : 50)
金	
土・日	

履修科目や近況について

○学修面

●履修している科目

・ Intermediate Korean Language 2 (火曜日 12 : 00～15 : 00)

韓国語の授業が様々なレベルで開講されており、自分は中級程度だと思っていたが、その中でも Intermediate Korean Language2 は日常生活で使えるものだけでなくそれ以上の場面で使える表現を学ぶことができるということで履修しました。1 週目は修正できる期間だったのですが、授業が英語ではなくすべてやさしい韓国語で進むためそれも勉強になると思い、このレベルにしました。この授業は午前と午後で開講されているのですが、午後は日本人の留学生仲間 3 人ともう一人の 4 人しか生徒がいなかったため、先生と

話す機会が多かったり、質問もしやすい環境であったりするためとても有意義に過ごすことができています。

・ Korean Pronunciation and its Application (水曜日 15 : 00～17 : 50)

韓国語には日本語にない発音が多くあり、かなり苦戦しているため名前で履修を決めました。実際に受けてみると他の国の留学生が多く、韓国と日本以外にも他の国の言葉との比較もでき興味深いです。音声学は学んだことがなく、発音記号に苦戦していますが、今まで触れたことのない学問に触れることができて楽しいです。

・ Global Startup (木曜日 10 : 00～12 : 50)

留学生向けの授業を探している中でこの授業は韓国人学生半分と留学生半分で構成されており、韓国人の学生と関わるができると思い履修しました。そもそも日本は世界的に見てもスタートアップ企業が少なく、ディスカッションのテーマも毎回難しく感じます。また、英語がネイティブレベルにしゃべることのできる学生ばかりでグループディスカッションではほとんど発言できていない現状なので今後もっと積極的に発言していきたいと思います。たまたま韓国人の学生 4 人と私 1 人の班になったときに 100% 理解することはできなかったけれど、おそらく反日よりの意見があり、空気が凍る経験をしました。そのような人がいるということは理解していましたが、実際に会うのは初めてだったので少し驚きました。政治的な情勢もあって韓国人の学生と日韓関係について話合うことが多く、歴史についてや政治について韓国の大学生はかなり強く意見を持っているということがわかりました。

2 月にあった履修登録期間で履修していた科目を履修修正期間でかなり変更しました。一週目に授業に参加してみて、韓国文化や歴史の授業はディスカッションが多く、周りの留学生はネイティブレベルの英語の人が多く、韓国語も通じないため、コミュニケーションをとるのが難しく、日本人の他の留学生も含めて少し浮いてしまっているように感じて変更しました。また、日本人以外の学生の積極的な授業の参加にも驚きました。韓国語で授業を受けるほどの語力はないけれど、英語を使って、英語ネイティブで積極的な方々に交じってディスカッションするのはかなり苦痛で、自分の学問に対するモチベーションの低さを痛感しています。意見を求められたときに間違えないようにしないといけないと思うところ日本人が出ていると思いました。授業時間が約 3 時間と長いのですが、コマでいうと 3 コマとかなり少なくなってしまったので韓国語に加えて英語も自分で空いた時間に勉強していけたらよいと思います。そして、後期は韓国語での授業を受講できたらよいと思っています。

●Tutoring 制度について

週に 1 度 Tutoring の制度があって韓国人学生 1 人に対して留学生 5 人程度の班で韓国語を学ぶ会が開かれています。この班にいる留学生は韓国語のレベルがそれぞれだいぶ異なっています。みんなでビンゴをしたり、しりとりをしたりしています。ここでもすべて英語なのであまり会話に参加することができず、人見知りをするタイプではないのですが、常リスニングテストのような状態で構えてしまっています。

○生活面

●住居について

私は寮ではなく学校外のワンルームを日本のエージェントを通して探しました。10 カ月の契約ができる物件が学校の周りになく、家から校舎まで地下鉄を使って合計で 1 時間くらいかかるところに 1 人で暮らしています。学校からは遠いですが、電車を使うのでソウルのだいたいの位置関係や、雰囲気はつかむことができます。また、弘大など観光地が近いので交通の便はとても良いです。大家さんも親切でお菓子や牛乳などたくさん差し入れをくれます。

●授業外の過ごし方

まだこちらの生活がはじまってから 1 カ月ちょっとですが、春休みだったこともあり、友達や先輩が泊まりに来てくれたことで休日は観光地と一緒に沢山回ることができました。授業のある日は日本人の留学生と一緒に学食を食べたり、学校付近のカフェに行ったりしています。日本では基本部活やアルバイトなどで休日朝から夜までぎゅーりと予定を詰め込むことが多く、自分の時間をほとんど取れない大学生活でしたが、こちらでは月金が全休なので金土日曜を自分の勉強や休養の時間にすることができています。カフェがとても多いので家の近くのカフェを開拓して過ごしています。

●部活について

日本でも女子サッカー部に所属していたのですが、ソウル市立大学にも女子サッカー部があったので授業が始まってすぐに入部して火水木の週に 3 回練習に参加しています。留学生は私を含めて 3 人、全体の部員は 30 人近くいると思います。韓国人の学生と関われる機会が本当に少ないのでここで週に 3 回沢山の学生と関われることができありがたいです。文武両道の文化の日本とは違い、韓国はスポーツを本気でやる人は選手を目指す文化のようで、ほとんどが初心者です。最初はなんとなく説明が分からなくてもみんなの真似をしてなんとかこなしていましたが、試合中の指示や要求など言葉の壁を感じる場面も出てきました。3 月末から本格的なリーグ戦も始まり、練習試合や公式戦を 1

週間に 1 回程度行っています。正直サッカーのスキルは日本に比べて低く感じますが、一人ひとり負けん気が強く、ぶつかったときの衝撃がかなり強く、ファールやカードも多く感じます。練習試合でも相手のチームと乱闘のような感じになったことがあり、日本ではこのような経験がなかったのでびっくりしました。千葉大の女子サッカー部は人数が少なかったので常にベンチにたくさん人がいる状態で試合に出してもらえるのはすごくありがたく、さらに市立大なのにも関わらず学校側から水やエナジードリンクも支給があったりと、とても良い環境でサッカーをさせてもらえています。とても親切で優しい子が多く、いつも覚えてたの日本語で話しかけてくれたり、言語の壁がある私にもサッカー面でのアドバイスを求めてくれたりととても充実した時間を過ごさせています。



